

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第三中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は93.1%(昨年度95.5%)で、高水準を維持している。 ・保護者の評価も83.0%(昨年度90.4%)と肯定的な意見が多数を占める。 ・学校教育目標の理念を一層周知し、一人一人の教職員が理解し、組織的に取り組んでいく。 ・達成に向けた取組をホームページ等で広く公表し、一人一人が輝き、感動と笑顔あふれる学校を実現する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者で視ると評価を少し下げているが、学校教育目標に向けて、先生・生徒が頑張っている。 ・コロナの中でマスク使用で落ち着いている。 ・様々な行事が縮小されたりするなか、生徒の安全が第一で取り組まれていると感じる。その結果、目標に近づいている。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※はじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒評価は97.3%(昨年度97.4%)、保護者評価は84.5%(昨年度87.1%)が肯定的解答。保護者からの信頼をさらに高められるよう、安全対策の徹底と周知を行っていく。 ・コロナ感染症対策も徹底して教育活動を行うことができた。 ・生徒指導主任、教育相談主任を中心に共有を図り、組織的な対応をとることができるように取り組んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が先生に大きな信頼をおいているのが見受けられる。 ・避難訓練、安全点検を定期的に行っている。 ・生徒が安心して生活している。 ・安全安心な危機管理ができています。 ・コロナ対策も良くできています。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は96.3%(昨年度96.3%)、保護者の肯定的評価は84.5%(昨年度81.4%)であった。保護者の信頼をさらに高めしていくために、ICT機器の活用や教員の授業力、資質向上に努める。 ・県学力学習状況調査では、全学年、全教科で県平均を上回ることができた。 ・授業のオンライン配信を行うなど休んでいても授業を視ることができるよう整備を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が良い授業を受けていると思えるところがある。 ・コロナ禍の中でタブレットを活用して基礎学力を付けている。 ・特に数学など、基礎学力が身につけていない生徒が見受けられる。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は96.6%(昨年度96.6%)、保護者の肯定的評価は71%(昨年度78.2%)であった。ICT機器の活用による授業のオンライン配信や学校ホームページ等を通じて、保護者に授業の様子を発信し、信頼を高めていく。 ・校内研修で、全教職員のICT機器を用いた授業力の向上を図ったり、本校生徒の実態に基づいた学校課題を設定したりして、更なる授業改善や学力向上に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が良い授業を受けていると思える。 ・コロナ禍の中でタブレットを活用して基礎学力を付けている。 ・生徒が自由に意見を述べている。 ・マスクの授業が少なくなれば良い。 ・熱意をもって指導して下さっている先生方の姿勢が感じられる。 ・科目により、習熟度別クラスを組む必要があると思う。生徒間のレベル差が激しい科目がある。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は91.4%(昨年度91.5%)、保護者の肯定的評価は89.5%(昨年度92.6%)で、「規律ある態度」は定着してきている。 ・生徒は、先生との話し方、職員室の入室の仕方など、意識して取り組むことにより、発達段階に応じた適切な態度を身につけている。 ・各委員会の取組により、生徒が自ら生活を見直すキャンペーン等が積極的に実施され、生活の改善につながっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつが良くできている。 ・昇降口での靴はきれいに並び、授業中も落ち着いた様子だった。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は94.1%(昨年度95.1%)、保護者の肯定的評価は86.5%(昨年度88.5%)であり、教員の指導や改善に対し一定の評価は得られている。 ・毎週教育相談部会と生徒指導部会を開き、全教職員で課題の共有及び改善・解決に向けた取組をした。 ・全校生徒の意見を聴きながら、生徒会が中心となり、校則を見直した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動での大会に出る際の自転車の乗り方が良い。 ・部活動での生徒と先生の野球・サッカーの活動を見と楽しくなる。 ・校内でも校外でも三中の生徒は、きちんとしている印象をもっている。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は88.5%(昨年度92.3%)、保護者の肯定的評価は81%(昨年度87.2%)であった。 ・体育授業で、準備運動時の工夫や体づくり運動の確保をすることで、意欲的に運動に取り組むことができる生徒を育成した。 ・体育委員会主催の朝の握力教科運動、昼休みの投力教科運動などに意欲的に取り組んでいた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でのマスクの使用が大変だと思った。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は86.0%(昨年度89.9%)、保護者の肯定的評価は74.5%(昨年度80.1%)であった。 ・体育科を中心に授業での運動の機会を増やしたり、各競技の掲示物を作成したりすることで、体力向上に向けた意欲を高めている。 ・部活動指導では、コロナ禍の影響を受けながらも各部の課題を踏まえ工夫した練習や活動をした。 	B	
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は74.7%(昨年度71.0%)、保護者の肯定的評価は70.0%(昨年度72.5%)であった。 ・体育大会の保護者1名の参観可及びオンライン配信、ふれあい推進事業の3年振りの開催、50周年記念式典、卒業式のオンライン配信等を実施し、開かれた学校づくりに努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動は外部指導者でも良いのではと思う。 ・コロナ禍でもあり難しい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的評価は84.1%(昨年度80.7%)、保護者の肯定的評価は82.5%(昨年度83.3%)であった。 ・PTA環境美化活動は、PTA本部が中心となり多くの保護者と連携し、実施することができた。今後もPTAや地域の方々が参加できるよう工夫し、学校・家庭・地域が連携して安全指導や生徒の健全育成を推進していく。 ・適宜メール配信や学校ホームページ掲示をすすめていく。また、オンライン配信等を積極的にい、協力体制を構築していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のアンケート提出がとて少ないと思う。アンケート提出も協力の一助だと思う。 ・PTAの負担を減らしつつも協力し合う関係性は保ちたい。 ・コロナ禍でもあり難しい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満